

お金の知識を あなたの力に



今回は、非営利のお仕事である「法人・団体職員」にフォーカス・オン。公正・中立な立場から金融経済教育を推進するJ-FLECでの業務に、公民科の知識がどのように生かされているのか伺いました。

お話を伺った方

金融経済教育推進機構(J-FLEC) 教育企画部
上席調査役 こたまき 小玉 紗綺さん

幼少期に実家が商売をしていたことから、お金の流れに興味を持つ。その後、高校などで金融や経済について学んでいくうちに、金融や経済について、より俯瞰的に見られる職業は何か、そういうことを学べる学校はどこかと考え進学。現職に至る。



★ J-FLECとは？

J-FLECは2024年4月に設立された認可法人で、正式には金融経済教育推進機構といいます。金融広報中央委員会や日本証券業協会、全国銀行協会など、これまでも金融経済に関する知識の普及に努めてきた団体が結集し、窓口を一つにすることで、公正・中立な金融経済教育を皆様により利用しやすくなるよう新設されました。

金融や経済についての知識は、高齢者や未成年者を巻き込む金融トラブルの報道などからも分かるように、誰にとっても生涯欠くべからざるものだと思います。そこで、われわれJ-FLECでは、学校等で使える教材の開発・提供を行うとともに、中立的な立場から金融経済に関するアドバイスを行うJ-FLEC認定アドバイザーという制度を設け、一般の方からのご相談に乗ったり、学校・企業などを対象にセミナーや出張授業を行うなどの活動を続けています。

★ 実家の仕事を手伝うなかで金融経済への関心が

金融や経済、より身近な所でお金というものは、われわれの暮らしと切っても切れない関係にあります。私自身がそのことに気付いたのは、子どもの頃、実家の商売をお手伝いするなかでのことです。お店にいらっしゃるさまざまなお客さんや仕入れ先の業者さんなどを見ているうちに、お金はこうやって常に流れていくんだな、おもしろいなと。

そして、学校で金融や経済のことを知ることで、実家のお店も金融や経済の一部なんだ、お金というものは広く世界中を巡っているんだなど、視野が広がる経験がありました。

そこから、金融経済をもっと勉強して、より俯瞰的に見ることが出来る職業を目指したいという思いが芽生え、今日に至るという経緯があります。

★ 学習指導要領で金融経済教育は拡充されたが…

現行の学習指導要領は、以前と比べ、金融経済の記述が拡充され、学校教育における金融経済教育の重要性は高まりました。しかし、同時に「主体的・対話的で深い学び」が

求められているなかで、どのような教材を使い、どのような授業をすればよいのか、学校の先生方からの問い合わせを伺っていると、まだまだ試行錯誤の段階にある方もいらっしゃるようです。

J-FLECでは、J-FLEC認定アドバイザーによる出張授業のコーディネートのほか、学校の先生方を対象とした無料のイベント・セミナーの開催^{※1}や生徒さん一人一人が参加できる体験型教材「生活設計・マネープランゲーム」の提供^{※2}などにより、今日の学校教育にふさわしい形での金融経済教育の普及に努めています。ぜひ、ご活用いただければと思います。

★ 教材のアップデートを目指していきたい

金融経済を巡る状況は、どんどん変化しつつあります。そのなかで学校の先生方のご期待に応えられるよう、われわれも授業で活用していただきやすい教材にアップデートしていく使命があると思います。

そして、高校生の皆さんが、自分のやりたいこと、かなえたい夢を達成できるよう、将来に向けたお金の準備についても意識しながら進んでいただけるといいなと思っています。

J-FLECについて詳しくはこちら



写真 高等学校での出張授業

※1 J-FLEC ウェブサイト
「専門家等による講義を受けたい」



※2 J-FLEC ウェブサイト
「授業で使える教材がほしい」

